

保幼小連携だより No.3

《2015年9月発行》

宗像市教育子ども部子ども育成課
TEL (0940)36-1214

保幼小連携だよりでは、『宗像市幼児教育振興プログラム』に基づく保育所・幼稚園・小学校の連携と接続強化のための取り組みを紹介いたします。(市のHPにも掲載しています。)

保育士・教員向け パンフレット

「保幼小接続期における学びのめやす」が完成しました

市では、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図り、幼児がスムーズに小学校に入学できるように、また心・体・学びの土台が築けるように、特に保幼小の接続期(年長児～小学1年生)を中心に「宗像の子どもたちをここまで育てよう」という「学びのめやす」を作成し、8月に市内の保育所・幼稚園・小学校の全職員に配布しました。

「学びのめやす」は、ワーキング会議(保育所・幼稚園の4名、小学校の4名、指導主事、社会教育主事の2名)で原案を作成し、市の教育委員会、幼児教育審議会、幼児教育研究協議会、市内の全保育所・幼稚園園長と小学校校長を対象とする保幼小連絡会でも協議し、市が独自に作成したものです。

今後は、保育参観や研修会等の様々な機会を通じて、活用の定着を図っていきます。



※パンフレットは、保幼小の連絡会や研修会での活用はもちろん、今後、宗像市内に赴任された保育士・教員の先生や年長児・1年生の担任の先生に毎年配布します。(市のHPにも掲載しています。)

～保育所、幼稚園、小学校での積極的な活用をお願いします～

保育所・幼稚園では・・・

- 就学前までにここまで育てるという到達目標として
- 子どもたち一人ひとりがそれぞれの項目を身に付けているか確認のため
- 子どもの発達段階を飛び越えていたり、無理をさせていないか、保育士・教員の先生自身が自らの指導内容や方法を振り返るため

小学校では・・・

- 保育所・幼稚園で育んできた内容を理解し、その成果をしっかりと引き継いで、子どもたちに声掛けや指導をしているか、教員の先生自身が自ら振り返るため
- 子どもたち一人ひとりのできていること、できていないことを把握するため
- できていることはさらに定着をめざし、できていないことは、保育所・幼稚園や家庭と連携して重点的に指導するため

保育士・幼稚園教員研修会



《給食試食の様子》

(献立: 麦ごはん、牛乳、丸干しいわし、いそべ煮、オレンジ、もやしとほうれん草のゴマあえ)

「宗像市立小学校における給食内容と食育について」をテーマに研修会を開催、32人の先生が参加

7月2日(木)に東郷小学校で、保育所・幼稚園の先生を対象に研修会を開催。市の栄養士と東郷小学校の井本先生から学校給食の取り組みについて話を聞いた後、給食の試食と参観を行いました。

「給食のおいしさに驚いた」「座り方や食べ方、スピードや量等を知ることができた」「栄養士の先生のきめ細やかな指導を見て、残さいをなくそうという小学校の工夫や取り組みがよくわかった」「1年生にあがる前にできることを少しでも取り入れたい」等、参加した先生からたくさんの感想をいただきました。

給食の時間は、丈夫な体をつくるだけでなく、マナーを身に付けたり、食事を通して人間関係を育むための大切な時間です。この研修での学びを、今後の各園での保育・教育に繋げてほしいと思います。



《実施内容》参観オリエンテーション、保育参観（年長クラス見学）、意見交換会
 《参加者》小学校教諭13人 保育所保育士等23人 幼稚園教諭等8人

保幼小の職員間の交流を図り、連携強化につなげるため、市では、年2回、市内の保育所・幼稚園・小学校の先生を対象に、保育参観と意見交換会を開催しています。この連絡会では、保幼小の先生が、幼児期の子どもたちの様子をそれぞれの視点で見て、幼児教育と小学校教育の共通する部分や違いを知り、課題を共有したり、どうしたら小学校への入学がスムーズにできるかを具体的に話し合ったりしています。

今回は、6月23日（火）に野ばら保育園で開催した連絡会の様子と参加者の声を紹介します。

保育所



《リズム運動を披露する子どもたち》

- 基礎体力づくりが体、手先、指先、足先を十分に発達させ、体の軸の安定につながることを知った。
- 「遊びながら学ぶ」「友達と一緒に経験する」ことが大切だと感じた。
- 小学校の先生との日常的交流が、子どもたちのスムーズな就学と安心して学べる生活づくりにつながると感じた。子どもを中心に大人同士のつながりを深めていく必要があると思った。
- わらべうた等を通して、子どもたちに遊びの中で楽しく基本的なことを身に付けてもらうことや基礎体力をつけることの大切さを感じた。
- 就学の直前ではなく、早い時期に小学校の先生の話聞く機会があることで、今から取り掛かることができること、また、気にかけて保育することができるので、とても良かった。

幼稚園

- 体を動かす楽しさを子どもたちが感じながら、リズム運動や運動遊びに取り組んでいたように感じた。
- 子どもたちがとても落ち着いて、運動や歌うことをイキイキと楽しんでいる姿が最高だった。
- 幼稚園と保育所の違いを感じることができた。小学校への進級も考え、保育につなげていきたい。
- わらべうたの活用は、集中力とリズム感が養われ、子どもたちの笑顔がとても良く、印象的だった。
- 今後も機会を作って、保育所や小学校に見学に行きたい。
- 設定が丁寧にされており、先生方の配慮や努力を感じた。



《参観後に行われた活発な意見交換会》

小学校

- 子どもたちの様子が、とても落ち着いているのに感心した。この姿が小学校でも継続できれば良いと思う。
- 子どもたちが発達段階に応じて、ハサミ、のりを上手に使うことができていた。
- わらべうたは、音韻感覚やリズム感覚等を養えて、小学校の学習につながっていく内容の濃い取り組みだった。
- 強制されないけれど、みんなが集中していた。楽しいことは大切。また、お手本がある良さ（年長さんみたいになりたいと思う気持ち）を感じた。
- 年長児の体操では、ルールのある遊びをしながら、跳び箱の準備や体づくりの基礎となる活動をしっかり取り入れていた。
- 入学後も、是非連絡会を開いてほしい。一年生の担任が話を聞く場を設定できたらプラスになる。
- 小学校に向けて、少しずつ座る時間を長くするよう、カリキュラムが組まれていることを知った。
- 小学校の「スタートプログラム」、保・幼からの「アプローチプログラム」が大切。交流がもっと深まれば、小学校1年生の課題も減っていく気がする。
- 物や人（先生方の声掛け→穏やかに1対1で丁寧に）等、環境づくりの大切さを感じた。

♪今年度の行事予定♪

- ◇第3回保幼小連絡会 平成28年1月28日（木）10時開会 福岡教育大学附属幼稚園保育参観
- ◇小学校統一入学説明会 平成28年2月8日（月）